



# 3月定例会 ここに注目!

平成31年3月定例会 (3月4日～3月22日)

平戸市敬老祝金支給条例の一部改正について

## 高齢者へお祝いと感謝の継続を求め、敬老祝金(77歳)廃止案を否決!

高齢者の長寿を祝福し、敬老の意を表するため、現在、77歳の人に8,000円、88歳の人に10,000円支給しているが、次の理由により市から77歳の人に対する敬老祝金8,000円の支給を廃止する提案がされた。

市が説明した敬老祝金見直しの主な理由

- ①平均寿命が伸びている。
- ②介護給付費等の増加が見込まれることから、元気な高齢者の割合を増やす施策に取り組む。
- ③高齢者いきいきおでかけ支援事業の実施。

委員会で出た77歳の人への敬老祝金支給廃止に対する主な反対意見

- この時期に条例改正をする理由が明確でなく、拙速感が否めない。
- いきいきおでかけ券は基本的に元気な高齢者が利用できるもの。
- 祝金を減額してでも支給し、高齢者に対しお祝いと感謝の姿勢は見せるべきだ。
- 他市の状況はどうであれ、平戸市の高齢者を敬う誇りは見せ続けるべきだ。

以上の理由により委員会で否決し、本会議でも全会一致で否決しました。

(仮称) 度島ふれあい会館整備事業

## 地元住民の意向を反映した施設となるように

平成26年4月に「ふれ愛センター度島」が介護施設として開設されたが、活用頻度が高く、既存の施設が手狭であるため、当初計画していた「三世代交流の場」「地域住民の団らんの場」として活用がしにくい状況となっている。

また、度島地区まちづくり運営協議会からも住民が気軽に集える公民館要素および高齢者福祉や青少年の健全育成機能を兼ね備えた施設建設の要望があった。

これらの経緯により、現在、ふれ愛センター度島内に設置している市窓口業務機能、度島地区まちづくり運営協議会事務所も含めた複合施設兼社会教育施設として建設する。

事業費

1億377万円

(仮称) 度島ふれあい会館の概要(予定)

建設予定地	平戸市度島町1656-3・4
構造	木造平屋建て
機能	①市窓口業務機能 ②度島地区まちづくり運営協議会事務所 ③公民館的機能(ホール、和室、調理室等)

委員会からの要請

度島地区にこれまでなかった施設なのだから、地元住民の意向を確認し、有意義な施設となるようさまざまな角度から検討するように!

平戸城宿泊施設整備事業

## 平戸城を日本初の宿泊施設へ

現在、倉庫となっている平戸城<sup>かいじゅうやぐら</sup>懐柔櫓を、施設の長寿命化とあわせて、日本100名城初となる城の宿泊施設としてリニューアル(改修工事等)するもの。

事業費

1億4,000万円(事業費の2分の1は国の地方創生推進交付金を活用)

※地方創生推進交付金は全国のモデルとなるような先駆的な事業が対象となる。

平戸城懐柔櫓の概要

所在地	平戸市岩の上町亀岡1458
構造	鉄筋コンクリート造 2階建て
竣工	昭和52年
面積	126.84㎡(1階86.25㎡、2階40.59㎡)

位置図および現在の平戸城懐柔櫓の様子



POINT

- 外装工事および内装工事の一部は市が行い、運営は民間事業者が行う。(公設民営)
- 運営する民間事業者は、全国から公募する。
- 事業者は、市に施設使用料を支払う。(使用料未定)

期待される効果

平戸の新たな魅力の創出と平戸城入館者の増加につながる。

委員会での審査

- Q 宿泊料金はどれくらいを想定しているのか。
- A 市内宿泊施設と競合しないよう、一棟貸しで1泊10万円以上を想定している。(料金は運営事業者が設定)
- Q コンサルティング事業で何をするのか。
- A 宿泊施設のコンサルティングや平戸城と市街地の周遊を促す仕組みづくりをする。

平成29年8月に沈没した砂利運搬船の船体引き揚げに関し「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律」に基づく指導等を求める意見書

## 内閣総理大臣をはじめ関係省庁等に意見書を提出

平成29年8月に平戸沖で砂利運搬船が沈没し、乗組員3人が死亡した事故で、沈没した船体の引き揚げに関し、「海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律」第40条の規定に基づく船舶の撤去命令もしくは同法第49条の2に基づく指導等について、的確に実行していただくよう関係省庁等に平戸市議会から意見書を提出しました。

(提出先)

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 内閣官房長官
- 国土交通大臣